



NEWS RELEASE

2023.5.22

日清食品グループが保有する「乳酸菌 N793 株」に “毛髪密度を高め、抜け毛を減らす効果がある”ことを発見

日清食品ホールディングス株式会社（社長・CEO:安藤 宏基）は、日清食品グループが保有するトウモロコシ由来の「ラクチプランチバチルス プランタラム N793（乳酸菌 N793 株）」に毛髪の密度を高め、抜け毛を減らす効果があることを臨床試験で明らかにしました。

トウモロコシから発見した乳酸菌が 毛髪の成長に必要な細胞を活性化することを実証

日清食品グループのグローバルイノベーション研究センターでは、健康科学に関する専門研究部門を設け、乳酸菌のさまざまな健康効果に関する研究に取り組んでいます。

今回、日清食品グループが保有する微生物ライブラリーのうち、トウモロコシ由来の「ラクチプランチバチルス プランタラム N793（乳酸菌 N793 株）」について、毛髪の密度を高め、抜け毛を減らす効果があることを実証しました。

薄毛に悩む日本人の男女を対象として、「乳酸菌 N793 株」を含むローションを継続的に頭皮へ塗布する臨床試験を 2021 年 4 月から 2022 年 10 月に実施し、毛髪密度の上昇および抜け毛を減らす効果があることを明らかにしました。この結果は「日本乳酸菌学会誌（Journal of Japan Society for Lactic Acid Bacteria 2022 ; 33 : 206-214.）」に掲載されました。さらに、薄毛に悩む日本人の男女を対象として、「乳酸菌 N793 株」を含むローションと「乳酸菌 N793 株」を含まないローション（プラセボ）を継続的に頭皮へ塗布する臨床試験を 2021 年 10 月から 2022 年 5 月に実施した結果、「乳酸菌 N793 株」を含まないローションを塗布した被験者と比べて、「乳酸菌 N793 株」を含むローションを塗布した被験者は統計学的に有意に毛髪の密度が上昇しました。この成果は、2023 年 7 月に開催される「日本乳酸菌学会 2023 年度大会」で発表する予定です。

日清食品グループは、「乳酸菌 N793 株」が持つさまざまな効果やそのメカニズムについて、これからも研究を続けていきます。

■ラクチプランチバチルス プランタラム N793（乳酸菌 N793 株）について

「ラクチプランチバチルス プランタラム」は、主に植物から分離される乳酸菌の一種であり、漬物やサプリメントなどの食品にも多く使用されています。

日清食品グループは、トウモロコシ由来の「乳酸菌 N793 株」について、毛髪の成長に必要な毛乳頭細胞を活性化させること、さらに毛髪の元となる毛母細胞の分裂を促すケラチノサイト増殖因子の産生を促進させることを、細胞実験によって明らかにしました。



乳酸菌 N793 株
(走査型電子顕微鏡画像)

■臨床試験について

臨床試験①「乳酸菌 N793 株を含むローションの頭皮への塗布は、毛髪密度を高め、抜け毛を減らし、薄毛の主観（毛のハリ・コシ、髪の毛のボリューム）を改善することを確認」

薄毛に悩む日本人の男女 12 名を対象として、「乳酸菌 N793 株を含むローション 3ml」を 24 週間、1 日 1 回頭皮へ塗布していただきました。

その結果、ローションの塗布前に比べて毛髪密度が統計学的に有意に上昇しました（図 1）。また、洗髪時の抜け毛本数評価についても、塗布前と比べて抜け毛本数が統計学的に有意に減少しました（図 2）。さらに、薄毛の主観を評価するアンケートにおいても、塗布前と比べて、毛のハリ・コシや、髪の毛のボリュームの改善が認められました（図 3）。

なお、この成果は論文として「日本乳酸菌学会誌（Journal of Japan Society for Lactic Acid Bacteria 2022 ; 33 : 206-214.）」に掲載されました。

図 1) 毛髪密度

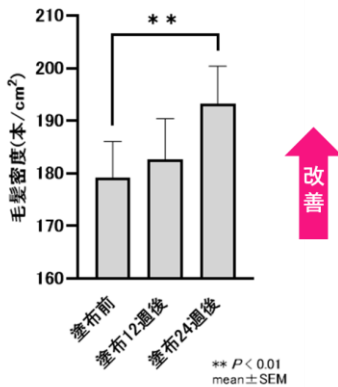
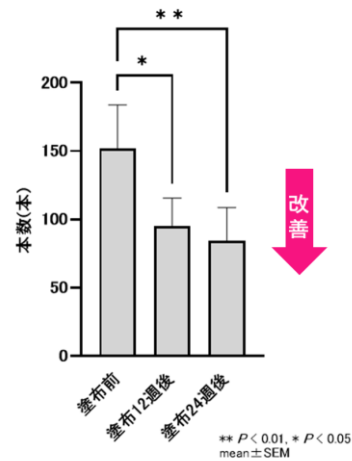


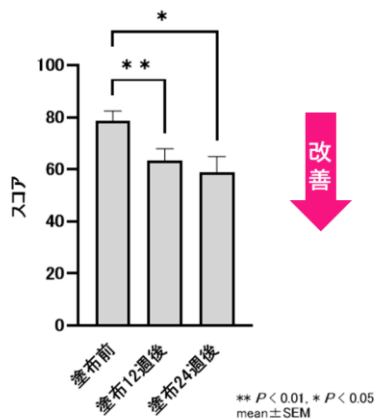
図 2) 抜け毛本数



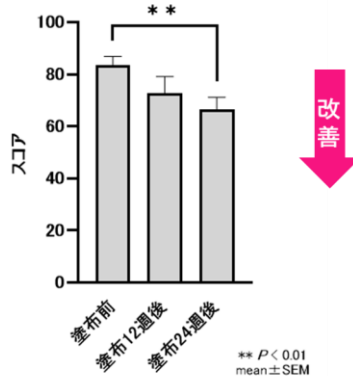
出典：Journal of Japan Society for Lactic Acid Bacteria 2022 ; 33 : 206-214 より一部改変
図 2 について、美容師による洗髪、すすぎの際に抜け落ちた毛の本数を計測

図 3) 薄毛の主観評価

毛のハリ・コシ



髪の毛のボリューム



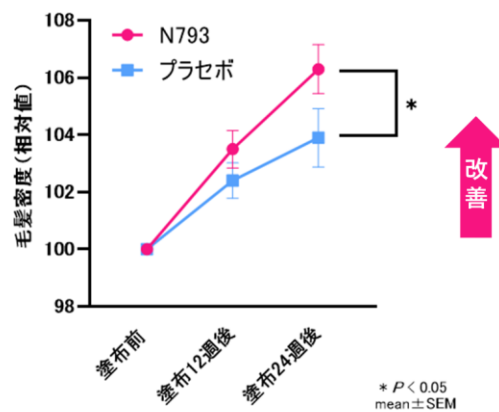
出典：Journal of Japan Society for Lactic Acid Bacteria 2022 ; 33 : 206-214 より一部改変
薄毛に関するアンケートにおいて「気になる」：100、「全く気にならない」：1としてスコアを測定

臨床試験②「乳酸菌 N793 株はプラセボと比べて毛髪密度を高めることを確認」

薄毛に悩む日本人の男女 104 名を 2 群に分け、一方の 52 名には「乳酸菌 N793 株を含むローション 3ml (N793)」、もう一方の 52 名には「乳酸菌 N793 株を含まないローション 3ml (プラセボ)」を 24 週間、1 日 1 回頭皮へ塗布していただきました。全被験者を対象とした解析では、毛髪評価において群間での有意差は認められませんでした。そこで、全被験者 104 名のうち、毛乳頭細胞が少ないことが推測される 18 名を除いた被験者 86 名について追加解析を実施しました。その結果、「N793」を頭皮へ塗布した被験者 43 名の塗布 24 週後の毛髪密度が、「プラセボ」を塗布した被験者 43 名と比べて統計学的に有意に上昇しました (図 4)。

なお、この成果は「日本乳酸菌学会 2023 年度大会」において発表する予定です。

図 4) 毛髪密度



出典：日本乳酸菌学会 2023 年度大会 (発表予定)